

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| 事故等番号        | 2008神第49号   |   |
| 事故等名         | 押船第十七浩鉄丸被押起重機船第十八浩鉄号乗揚  |   |
| 発生年月日時刻      | 平成20年9月15日15時00分ごろ  |   |
| 発生場所         | 関西空港2期空港島工事現場   |   |
| 事故等調査の経過     | 調査の概要:平成20年11月20日 神戸・地方事故調査官が、海難報告書を精査し、船舶所有者に損傷状況を電話聴取<br>原因関係者からの意見聴取:意見なし  |   |
| 認定した事実       |   |   |
| 船種・船名・総トン数   | A 押船第十七浩鉄丸 19トン   |   |
| 船舶番号(IMO 番号) | 292-46455福岡   |   |
| 船舶所有者等       | 塩塚建設株式会社  |   |
| 船種・船名・総トン数   | B 起重機船第十八浩鉄号 1,240トン  |   |
| 船舶番号(IMO 番号) |   |   |
| 船舶所有者等       | 塩塚建設株式会社  |   |
| 乗組員等に関する情報   | A 船長 一級小型船舶操縦士  |   |
|              |   |   |
|              |   |   |
| 負傷者          | A なし  |   |
|              |   |   |
| 損傷           | A なし  |   |
|              | B 左舷船首部船底に凹損  |   |
| 事故等の経過       | A船は、関西空港2期空港島工事として消波ブロックの据付け作業に従事していたところ、平成20年9月15日15時00分ごろ、B船の船底が消波ブロックに接触し、乗り揚げた。<br>作業や運航に支障がなかったが、後日の入渠により、B船の船底に凹損が確認された。<br>気象・海象は平穏であった。 |   |
| 事実を認定した理由    | 気象・海象の関与<br>乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>判明した事項の解析   | なし<br>あり<br>なし<br>A船は、操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因           | 本事故は、A船が操船を適切に行わなかったため、B船が消波ブロックに乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。  |   |
| その他の事項       | なし  |   |